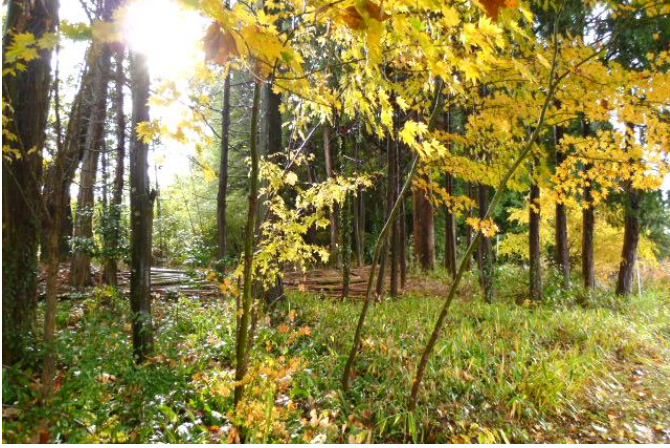


## 2022. 11 月のブルーベリー農園その4

夏のブルーベリーの収穫のシーズンと違って晩秋の週末農業はゆっくりモードで午後からとなることが多い。23日の祝日は雨だったが、

粘って午後に安芸区の自宅から東広島市豊栄町のブルーベリー農園に行った。2時過ぎから雨が上がったので数時間農園で作業することができた。26、27日の土曜日の天気は晴れて、農園は桜の木にシジュウガラがやってきましたり、時折カラスが鳴くだけで風もなく静か。



11月23日（水）

午前中は雨。午後農園に着いてから遅い昼食をとっている間に雨が上がったので里山の竹を数本伐採。あたりにはまだ小さいカエデの木が数本紅葉している。



11月27日（日）

農園の周囲のあちこちに柿の木がある。葉がすっかり落ちて実だけが残りにカラスに食べられるか落柿を待つだけ。小ぶりの実なので人は取らなくなった。



薄日が差し、黄色い葉の先にたまるしずくが光る。



午後から庭の剪定で出た枝を燃やす。

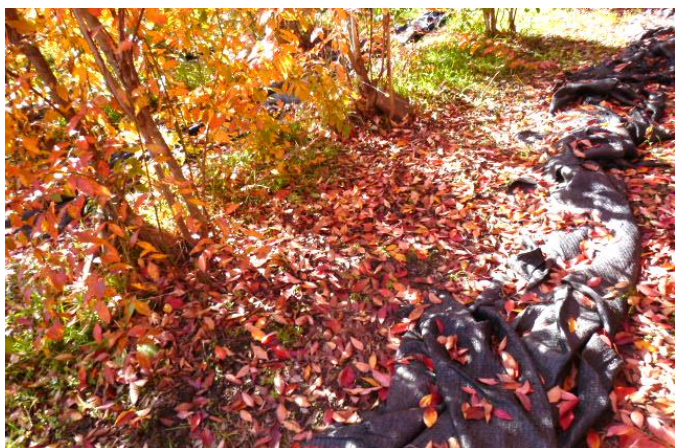


庭のサザンカ。今年は花数が多いので落花もたくさん。



野焼きの煙は畑の中からも見える。ブルーベリー畑の作業は小さいブルーベリーの木の足元の周囲をモグラがトンネルを掘っているのでバールを突き刺し、ほぐし、足で踏み固める作業を続けている。





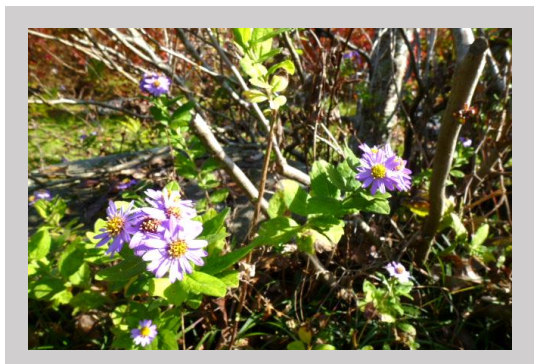
そろそろブルーベリーの落葉が始まった。



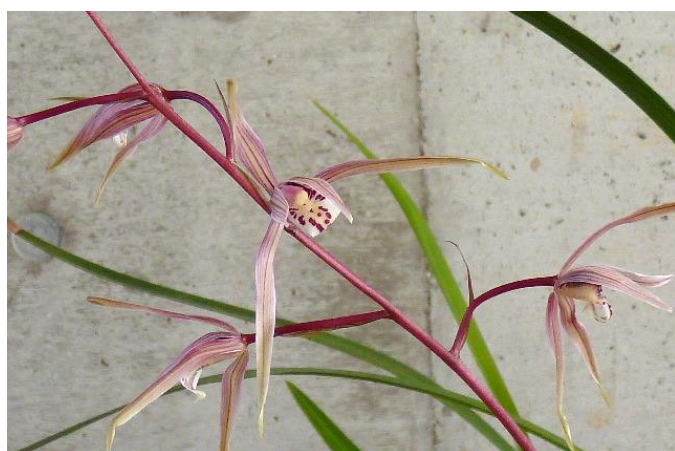
それでも、花を咲かせる木もある。11月は暖かい日が多かったせいかもしれない。



ブルーベリーの古い幹につくのはウメノキゴケ。排気ガスに弱く空気のきれいな場所にしか生えないそうだ。木は植えてから20年たっているの、幹の更新のサインにもなる。とりあえず剪定ばさみでそぎ落とす。



我が家で育てている寒蘭の紹介。  
寒蘭が咲いているので、農園に出かける前に自宅で撮影した。鉢からの高さが60cm位あり花の茎が2本で、花がそれぞれ10個、9個ついている。



葉も細くてしなやかだが、花も細くて長い。香りが立ち込めるので玄関の中に置いている。名前は「日光」。ブルーベリー栽培よりも長くもう30年以上付き合い合っている花。もう一鉢は薄い黄色の花が咲いている。

2022年11月30日  
社会福祉法人安芸の郷  
理事長 遊川和良

《2022年11月30日の「新・ヒロシマの心を世界に」のブログに掲載したものに写真を加えて編集しなしています》

